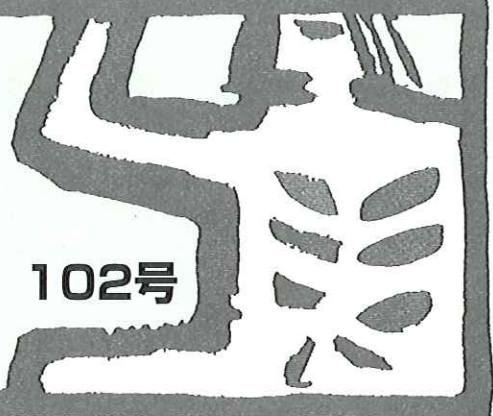


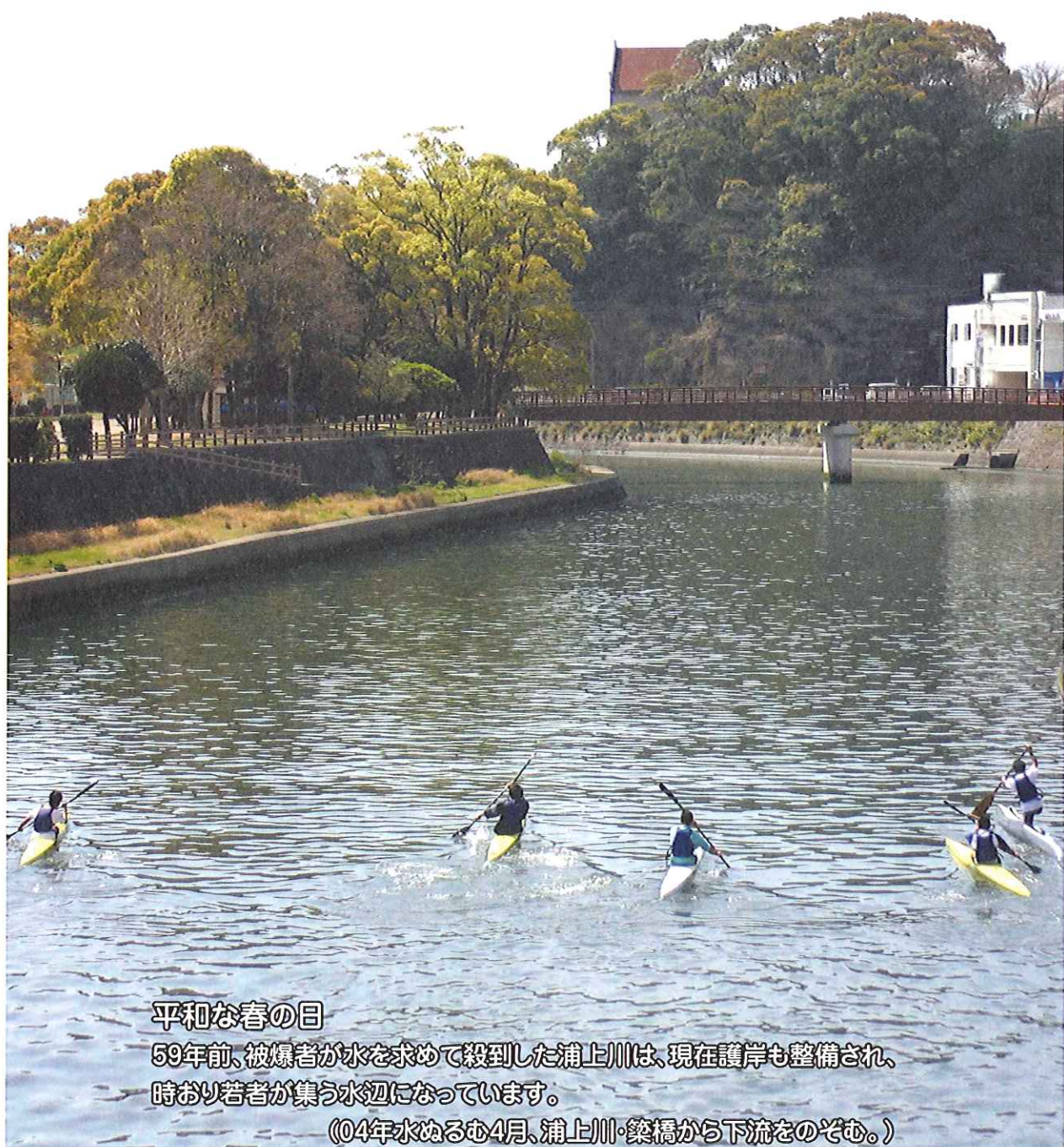
ピース・ウイング長崎 会報

へんりゃ

102号



■財団法人長崎平和推進協会 〒852-8117 長崎市平野町7番8号 ■電話 (095) 844-9922 FAX (095) 814-0056  
<http://www.peace-wing-n.or.jp>



平和な春の日

59年前、被爆者が水を求めて殺到した浦上川は、現在護岸も整備され、  
時おり若者が集う水辺になっています。

(04年水ぬるむ4月、浦上川・築橋から下流をのぞむ。)

# 十六年度はこのような事業を実施してまいります

3月18日(木)と25日(木)の両日、評議員会・理事会が開催され、16年度の事業計画・予算案が承認されました。

本年度の新しい事業としては、インターネットによるテレビ会議システムを利用して全国の遠隔地の小・中学生に被爆体験を聞いてもらう「ピースネット」事業をはじめます。また、昨年設立20周年記念事業として、昨年開始した「アジア青年平和交流」事業について、今年には派遣者を増やして開催します。

## Ⅰ 一般事業

### 1 発刊事業

(1) 会報「へいわ」年4回から5回の発行へ

協会の事業活動をはじめ、平和に関する動きをとらえ、会員に情報を提供するとともに、会員相互の連携を図ります。

(4) 碑巡りガイド書の発行

継承部会碑巡り班が長年にわたって作成した、原爆遺跡及び慰霊碑の配置図や内容をまとめたガイド書を発行し、多様化する平和学習のニーズに対応します。

### 2 啓発事業

(1) 被爆体験講話の実施

(2) ブックレット「ナガサキ平和のあゆみ」の発行  
当協会の設立趣旨やこの1年の取り組み、活動状況等をまとめたものです。

(1) 被爆体験講話の後世に伝えるため、修学旅行生や市内の小・中学生などに被爆体験講話を実施します。

(2) ピースネットの実施

(3) 広報活動費  
インターネットの活用等により、協会活動の周知を図ります。

平成16年度から、関東以北の小・中学校に対し、テレビ会議システムによる平和学習を実施します。

(3) 講演会等の実施

平和問題への認識を深めるため、核兵器や平和・軍縮問題の専門家などを招き、講演会を開催します。

(4) 国連軍縮週間行事

国連軍縮週間(10/24~10/30)に「市民のつどい」を実施し、音楽会や講演会など若い人たちが参加しやすい催しを行います。

### 3 調査研究事業

平和・軍縮関係の会議やシンポジウムなどに出席し、情報収集や関係機関との交流を図ります。

### 4 育成事業

(1) 部会活動

継承・写真資料調査・国際交流・音楽の4部会が平和意識の高揚を図るための活動を行います。また、部会員の連携を図るため、これらの部会活動の発表の場をつくります。

(2) アジア青年平和交流事業

日本の若者とアジア諸国の若者が、お互いの国を訪問し、文化・歴史を学びます。また現地の人々との

意見交換や交流を通して相互の考え方や習慣の違いを通じて平和について考えます。

(3) ボランティアの活動支援

平和活動の担い手となる学生ボランティア及び外国語ボランティアガイドの活動を支援します。

(4) 平和事業への支援

協会の活動趣旨と一致する市民主催の音楽会や講演会のほかシンポジウム、外国人弁論大会などの活動に財政支援を行います。



▲韓国の青年が参加した昨年の8・10(ハト)会議

## 平成16年度収支予算

### ■収入

(単位:千円)

	科 目	本年度	前年度	比 較
一 般 会 計	基本財産収入	30	30	0
	会 費 収 入	3,935	3,930	5
	補 助 金 収 入	32,444	42,007	△9,563
	寄 付 金 収 入	1	1	0
	基本財産収入	1	1	0
	繰 入 金 収 入	1,500	1,500	0
	雑 収 入	1	1	0
	一般会計合計	37,912	47,470	△9,558
特 別 会 計	受 託 事 業	360,711	495,743	△135,032
	収 益 事 業	25,000	26,100	△1,100
	特別会計合計	385,711	521,843	△136,132
収 入 合 計		423,623	569,313	△145,690

### ■支出

	科 目	本年度	前年度	比 較
一 般 会 計	(1)発刊事業	3,957	2,900	1,057
	(2)啓発事業	2,700	3,796	△1,096
	(3)調査研究事業	200	200	0
	(4)育成事業	6,673	4,399	2,274
	(5)推進対策事業	927	896	31
	管理運営事務	23,454	35,278	△11,824
	基本財産預金	1	1	0
	一般会計合計	37,912	47,470	△9,558
特 別 会 計	受 託 事 業	360,711	495,743	△135,032
	収 益 事 業	25,000	26,100	△1,100
	特別会計報告	385,711	521,843	△136,132
支 出 合 計		423,623	569,313	△145,690

#### (5) 秋月グラント

被爆体験の継承や平和意識高揚のための事業を実施する市民団体等へ助成する制度を設けます。

なお、新制度の名称には、協会設立20周年を踏まえ、設立に多大なる貢献をした秋月辰一郎氏の名を冠します。

#### (6) 平和案内人の育成

高齢化している被爆者に替わり、被爆建造物や資料館等のガイドを行う平和案内人を育成します。長

崎市民や修学旅行生などに被爆の実相を伝えたり、原爆・平和を考えるための案内役となります。

#### II 受託事業

長崎市や国から委託を受けて次の事業も行います。

1 長崎原爆資料館観覧料収納業務  
及び受付案内業務

2 長崎原爆資料館図書資料整理業務

3 長崎市少年平和と友情の翼事業

4 ヒロシマ・ナガサキ原爆展事業

5 国立長崎原爆死没者追悼平和祈

#### 念館運営事業

6 原爆資料館展示ガイドモデル事業  
原爆資料館の展示室に案内ガイドを配置し来館者へのサービスの向上に努めるとともに、来館者のニーズを把握します。

#### III 収益事業

原爆・平和に関する図書や、物品などの販売を長崎原爆資料館の図書販売コーナーで行います。



▲テスト交信も兼ねた第1回ピースネットの様子(3月10日)

## 祈念館だより

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館



館長  
丸田 徹

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館が、昨年の七月六日に開館してから、早いもので十か月が過ぎました。

この間の入館者数は、約七五、〇〇〇人あまり。当初の見込みを若干下回ったとはいえ、市民や観光客の方々等多くの皆様にご利用いただきました。

国からの当祈念館の管理運営を委託された私たち長崎平和推進協会といたしましては、理事長をはじめ、職員一同も、まずは無難なスタートを切ることができたことに一安心するとともに、開館二年度目を迎え、また新たな気持ちで毎日頑張っています。開館準備の段階からご協力、ご尽力をいただいた関係者の皆さんに、ここに改めて感謝を申し上げます。当祈念館は、その名が示すように、国により被爆地である長崎に建設さ

れた施設で、原爆死没者を追悼し、核兵器のない恒久平和の世界の実現を祈念する目的で設置されたものです。

平成二年に「原爆で亡くなられた方々に対し、国としてどのような形で弔意を表すか」との検討が政府内で始められて以来、十年以上の期間と地元被爆者の方々との調整等、紆余曲折を経て、被爆後五十八年目にしてやっと当祈念館の完成に漕ぎつきました。このことは、原爆死没者を追悼し、永遠の平和を祈るという意思を、国が国として表したものであり、さらには被爆地長崎がずっと訴え続けてきた核兵器廃絶への願いに対して、国としても、その努力を誓うという証でもあります。祈念館建設に対するいろいろなご意見はあるにしても、被爆地長崎にとって平和を発信する機能が高まるという意味で、喜ばしいことと考えます。

当祈念館の特徴は、隣接する長崎原爆資料館が被爆者の遺品等、主として被爆した「もの」を通して被爆の実相を伝え、平和を訴えるのに対し、祈念館では、原爆死没者や遺族等の方々の手記、体験記を収集し、利用することにより、主として被爆した人々の「このころとことば」によって、これを訴えようとする点にあります。

原爆資料館とは地下通路でつながり、資料館で被爆の惨状を学び、祈念館で亡くなられた方々のご冥福を祈り平和について考えるというスムーズな流れができています。

核兵器の廃絶という私たちの願いとは逆行しているかのような現在の世界情勢の中で、当祈念館の存在意義はますます大きくなるものと思います。

今後、入館者の増加策や平和情報発信機能の向上など課題は多くありますが、皆様のご支援を得ながら、原爆死没者の追悼と平和情報の発信拠点施設として、さらなる祈念館の発展を図ってまいりたいと思っておりますので、よろしく願います。



## シリーズ

### 8・9展作品紹介

「閑日」(油絵)

川添千鶴子(長崎市八幡町在住)



〔作者コメント〕

終戦の年は、学徒動員で香焼島の川南造船所に、4月から原爆が投下された8月まで行っておりました。

その後、何とか当時の思いを残したく、22年前から油絵を描くようになりました。今、絵を描くことを生き甲斐に老後を送っています。

# 協会ホームページリニューアル

会員の皆さんは、協会のホームページをご覧になったことはありますか。おそらく大半の会員の皆さんは、協会にホームページがあること自体、ご存知なかったかもしれません。

ところで、昨今の通信業界の進歩は著しく、日本においてはほとんどの企業・団体が独自のホームページを開設しています。ホームページの果たす役割は大きく、それは単に企業・団体の活動を知ってもらうという役割だけでなく、インターネットを通じて物の売買が行われるところにまで至っています。当協会も核兵器廃絶と世界恒久平和を広く訴える立場にあることから、数年前からホームページを開設しその役割を担ってきました。しかし、開設したところでの利用件数は少なく、会員の皆さんの情報源となることは、ほとんどありませんでした。

今回、ホームページをリニューアルさせた目的は、会員の皆さんに最新の情報をいち早くお伝えするということはもちろんのこと、会員を拡大させたいというところにあります。実際のところ、当協会の会員数は、ここ数年横ばい状態にあり、会員数を伸ばすには協会のことをもっと多くの方々に知っていただく必要があるのではないかと考え、今回のホームページ改編に至ったわけです。

ここで、皆さんに今までのホームページとどのように内容が変わったのか、ご説明いたしましょう。皆さんが画面を開かれて一番最初に気づかれるのは、見やすくなったというところだと思います。まず、最初のホームページを見ていただければ掲載しているホームページの内容が一目でわかるようになっています。以下は、今までのホームページからの主な変更点です。

## (1)平和推進協会についての詳細な説明

長崎平和推進協会という団体が、どんな団体なのかについて、協会会員以外の方は、ほとんど知らないという現状にあります。そこで、リニューアルしたホームページでは、協会の仕事、実施事業、及び組織について、従来のホームページより詳細に説明しており、また写真等も入れて見やすく工夫しています。また、現在は情報公開の時代であることから、協会役員の名簿、寄附行為及び財務諸表等の情報も積極的に公開しています。

## (3)被爆体験講話・ビデオ・パネルご利用案内

リニューアルしたホームページでは、修学旅行生等を対象に実施される被爆体験講話の原爆資料館での2会場（原爆資料館ホール・平和学習室）の予約がインターネット上でできるようになっています。また、協会継承部会員（語り部）に所属する39名の方のプロフィールも紹介しており、従来に比べてより利用しやすくなっています。また、今までのホームページと同様、当協会が貸出すビデオ・パネル等の紹介も行っています。

## (5)会員申込みのご案内

従来のホームページでも会員募集の案内を行ってききましたが、リニューアルしたホームページでは、会員の特典を明確にしており、協会のホームページをご覧になった方が、会員になりやすいように配慮しています。また、郵便局での会費を納入できるよう会費振込用紙もダウンロードできるようになっています。

## (2)図書・グッズ販売

当協会は、原爆資料館内で図書売店を運営しておりますが、市外在住の方などは、なかなか原爆資料館まで足を運ぶ機会はないと思います。そこで、図書売店で販売している商品を市外の方も購入しやすいようにということでインターネット上で買物ができるようになります。また、新製品の紹介などもホームページ上で行う予定です。

## (4)ダウンロードデータサービス

リニューアルしたホームページでは、ダウンロードデータサービスも充実させています。会員専用と一般開放の2つに分けており、会員専用では、皆さんがいまご覧になっている会報「へいわ」や、その他協会の部会が発行している情報誌（「情報BOX」、「継承部会通信」）がインターネット上から、ダウンロードできるようになっています。一般開放では、平和学習やフィールドワークの資料がダウンロードできるようになっており、修学旅行や観光で長崎を訪れる方に重宝されると思われます。

以上、概略、リニューアルしたホームページの内容を説明させていただきましたが、皆さんも是非、リニューアルしたホームページをごらんください。



<http://www.peace-wing-n.or.jp>

## 平和案内人 育成講座開催

被爆者の高齢化に伴い、被爆の実相を伝えていく人が少なくなっていくという現状を踏まえ、追悼平和祈念館、原爆資料館、被爆建造物などのガイドができる人（「平和案内人」）を育成します。



三月二十六日（金）に記者発表を行い、四月一日より育成講座の受講生の募集を開始したところ、多数の応募がありました。

そして、いよいよ5月末から平和案内人育成講座を開催し、様々な講師が原爆・平和に関する講演をいたしました。（下記予定表参照）  
講座の様子など、今後の会報にて紹介していきたいと思っております。



## 平和案内人育成講座内容

回数	開催日	講座内容	講師
第1期	第1回	5月25日(火)	原爆被害の概要 森田 隆氏(長崎原爆資料館館長)
	第2回	5月29日(土)	写真で見る原爆投下時の長崎 深堀 好敏氏(平和推進協会写真資料調査部会長)
	第3回	6月 5日(土)	被爆体験講話 下平 作江氏(平和推進協会継承部会)
			原子爆弾の原理と破壊 ～都市を消滅させるための兵器～ 岡林 隆敏氏(長崎大学工学部教授)
	第4回	6月15日(火)	放射能と原爆後障害 朝長万左男氏(長崎大学医学部教授)
			被爆体験講話 和田 耕一氏(平和推進協会継承部会長)
	第5回	6月26日(土)	原爆と報道 関口 達夫氏(NBC報道局報道部専門部長)
			長崎の歴史 原田 博二氏(市立博物館長)
	第6回	7月 6日(火)	現代の核問題と平和 土山 秀夫氏(元長崎大学学長)
第7回	7月13日(火)	原爆被爆者対策と平和行政 永田 博光(平和推進協会事務局次長)	
		平和の歌の合唱 小笠原一弘氏他(平和推進協会音楽部会)	
第8回	7月20日(火)	思いを伝える ～原爆朗読劇を通して～ 渡辺美佐子氏(女優)	
第9回	7月27日(火)	私の平和活動 西岡 由香氏(ながさき女性国際平和会議代表)	
		第1期研修まとめ 船山 忠弘氏(平和推進協会副理事長)	
第2期	第10回	8月21日(土)	接遇研修 津田 桂子氏、本山 善彦氏(県市演劇協会会長)
			ガイドの心得 原田美智子氏(平和推進協会継承部会)
	第11回	8月24日(火)	資料館・祈念館ガイドのポイント 原爆資料館・追悼平和祈念館
	第12回	8月28日(土)	被爆建造物・碑めぐりフィールドワーク 平和推進協会継承部会・碑巡り班
第13回	9月 7日(火)	ガイド体験談聴講と意見交換 原爆資料館展示ガイド	
		観光地の概要 長崎市観光振興課	
第14回	9月14日(火)	第2期研修まとめ 船山 忠弘氏(平和推進協会副理事長)	
第3期	第15回	9月18日(土)	資料館・祈念館ガイド実習 原爆資料館・追悼平和祈念館
	第16回	9月25日(土)	被爆建造物・碑めぐり実習 平和推進協会継承部会・碑巡り班
	第17回	9月28日(火)	第1～3期研修まとめ 船山 忠弘氏(平和推進協会副理事長)

※内容及び講師は都合により変更となる場合があります。  
※講座終了後も定期的に特別講座を開講する予定です。

平和情報コーナーメッセージ紹介



↑平和は決してお金でかえるものじゃない。平和を現実に!

↓韓国語 (日本語訳) ... 世界の平和は大切だ!



ハ ド ン ヘ ア ル テ ー レ グ ト ル ゼ ン ヘ ル  
 ナ ウ ト サ ギ カ チ カ チ ヤ マ デ ク ル ル  
 ャ ム ゲ ユ ジ サ ゲ イ メ ヒ キ ユ ラ シ イ  
 メ ヒ ビ ユ ヤ オ ン ノ ガ リ コ レ ニ ノ ウ  
 ウ バ ス テ ヤ マ ガ マ ア ス デ シ ノ ド ロ  
 ギ サ ウ ロ シ ノ バ ナ イ ン ウ ス ア ウ タ  
 キ ル ロ ノ ヨ ジ ウ ヨ シ ノ リ ウ チ ツ マ  
 ツ カ タ ン パ ー タ ー ピ ア オ イ ト リ シ  
 チ ニ モ キ ノ メ ミ カ ノ カ ナ フ リ ワ ラ  
 ヨ ガ モ ツ ヒ フ ニ ニ キ イ グ ン ダ フ ウ  
 ム ツ ナ ヨ ク オ ク ケ オ ク ノ ヤ オ シ ス  
 デ セ ギ カ カ ノ イ テ オ ツ ア ユ ヒ キ キ  
 シ ン ツ ア ギ ヒ ア カ ズ キ ン ジ ハ メ ユ  
 ニ フ タ シ ヨ シ ヒ シ ウ ボ ン ス ツ イ ヤ  
 ヨ イ フ ツ ニ ツ ル ノ オ ン ガ エ シ ギ ジ  
 ナ ッ ト ケ ユ キ ノ ジ ヨ オ ウ ロ タ ン キ  
 ウ コ タ ン リ ロ コ ビ ス ム オ ン ス ノ ロ

残った文字は右から縦に読んでください

〈注 意〉  
 たて・よこ・ななめ・さかさま、いろいろと探してみてください。一つの文字が複数のタイトルと重なる場合もあります。

- |            |            |
|------------|------------|
| 一寸法師       | 青い鳥        |
| いなかのしろうさぎ  | 赤い靴        |
| うばすて山      | 赤毛のアン      |
| 浦島太郎       | あかずきん      |
| おむすびころりん   | あしながおじさん   |
| かぐや姫       | おやゆび姫      |
| かちかち山      | 白雪姫        |
| 吉四六(きつちよむ) | シンデレラ      |
| 金太郎        | 人魚姫        |
| さるかに合戦     | ハイジ        |
| 三枚のおふだ     | ピーターパン     |
| じゅげむ       | ピノキオ       |
| 鶴のおんがえし    | 不思議の国のアリス  |
| 泣いた赤鬼      | ヘンゼルとグレーテル |
| ひよっこ       | マッパ売りの少女   |
| 桃太郎        | みにくいあひるの子  |
| 雪 女        | 雪の女王       |



パズルでグッズプレゼント!

今回は童話のタイトル探しパズルです。次のリストにある童話のタイトルを塗りつぶし、残った文字がクイズになっています。そのクイズの答えをはがきに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に推進協会ミニタオルをプレゼント。

〈応募方法〉  
 官製はがきに、クイズの答えと住所、氏名、電話番号を記入の上  
 〒852-8117 長崎市平野町7-8財長崎平和推進協会「へいわ」102号プレゼント係までお送りください。  
 抽選で5名様に推進協オリジナルミニタオルをプレゼントします。  
 なお、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

6月30日必着

## 春を迎える ラウンジコンサート開催

「春を迎えるラウンジコンサート」が3月27日、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の交流ラウンジで開かれました。

福岡で活躍中の九州交響楽団に所属するオーボエの大倉氏、第一ヴァイオリンの八尋氏を中心に5人のメンバーを迎え、弦楽四重奏でモーツァルトの「ディベルティメントK136」やハイドン作曲「セレナード」など皆さんに親しみやすい曲を取り入れてもらい、祈念館のPRとともに、死没者名簿が安置された追悼空間への慰霊のコンサートになりました。

この企画は、協会の音楽部会の企画によるもので、会場には大倉氏の指導を受けたことのある中学生や高校生も参加し80人あまりの人が耳を傾けました。

訪れた人たちは、初めてという人が多く、演奏前や演奏後に館内を見学していました。

また、演奏に先立ち協会の活動内容の紹介や入会が呼びかけられました。音楽部会においても、このような催しが会員の拡大につながるようこれからも取り組んでいきたいと思っています。(音楽部会長 小笠原一弘)



▲交流ラウンジで演奏された、オーボエを加えた弦楽四重奏

演奏者	
オーボエ	大倉 安幸 (九州交響楽団)
第一バイオリン	八尋 祐子 (九州交響楽団)
第二バイオリン	中嶋 純子
ビオラ	中村はるみ
チェロ	八尋 清太

### 賛助会員のご紹介

前号に引き続き、協会の趣旨に賛同していただいている会社関係の賛助会員を紹介させていただきます。

- ・(有)椿フォト企画
- ・古賀植木センター
- ・オックス総合リース(有)

### ミュージアムショップからのお知らせ

ミュージアムショップ(原爆資料館内の売店)では、平成十六年度より、会員の皆さんに限り平和推進協会オリジナル商品を特別価格にて販売致します。

今回は、割引対象商品、割引価格のご案内を致します。

- オリジナルTシャツ (2デザイン4サイズ) 1,500円→**1,350円**
- 原爆被爆記録写真集  
ピース・トークⅧ 1,000円→**900円**
- ピース・トークⅠ(英語) 800円→**720円**
- 原爆資料館絵はがき(15枚入) 650円→**585円**

●ながさき原爆の記録

- ピース・トークⅠⅤⅦ
- キーホルダー(シンボルマーク)
- オリジナルストラップ(各4色) 500円→**450円**

- 小崎侃絵はがき「祈りの丘」 350円→**315円**

- 長崎原爆資料館(児童図書)

- 原爆資料館絵はがき(5枚入)
- キーホルダー(平和祈念像) 300円→**270円**

- オリジナルミニタオル(各4色)
- オリジナルピンバッジ
- オリジナル缶バッジ(各2色) 250円→**225円**

- オリジナルクリアホルダー(各4色) 200円→**180円**

\*ご購入の際には、送付しております会員カードを精算前に必ず提示してください。

\*記載しております金額はすべて税込価格です。

- お問い合わせ先  
(助)長崎平和推進協会  
書籍販売コーナー

電話・FAX(095)842-0580  
E-mail:net@peace-wing-nor.jp

